

読 響

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra



Masaaki Suzuki Conductor

指揮
鈴木雅明

世界の一流楽団を振る巨匠が
15年振りに読響に登場

J.M.クラウス
教会のための
シンフォニア 二長調 VB146

J. M. KRAUS: Sinfonia per la Chiesa in D major, VB146

モーツァルト
交響曲第39番 変ホ長調 K.543

MOZART: Symphony No. 39 in E flat major, K. 543

メンデルスゾーン
オラトリオ「キリスト」作品97

MENDELSSOHN: Christus, op. 97

メンデルスゾーン
詩篇第42番
「鹿が谷の水を
慕うように」作品42

MENDELSSOHN: Psalm 42, op. 42

RIAS Kammerchor Chorus

合唱
RIAS
室内合唱団

ベルリンを拠点とする
世界最高峰の合唱団



読売日本交響楽団 第582回 定期演奏会

2018 10/26 (金) 19:00
サントリーホール

Subscription Concert, No. 582

Friday, 26th October, 2018 19:00 / Suntory Hall

S ¥9,500 A ¥7,500

B ¥6,000 C ¥4,500

読響チケットセンター 0570-00-4390

(10時-18時・年中無休)

<https://yomikyo.or.jp>

主催：読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会

公益財団法人三菱UFJ信託芸術文化財団

協力：アフラック

後援：日本メンデルスゾーン協会

平成30年度(第73回)文化庁芸術祭参加公演

ソプラノ テノール
リディア・トイシャー 櫻田亮

Lydia Tauscher Soprano

ベルリン国立歌劇場などで歌う
ドイツの名ソプラノ

Makoto Sakurada Tenor

国際的に活躍する
俊英テノール

©Matthias Heyde

©Shirley Suarez

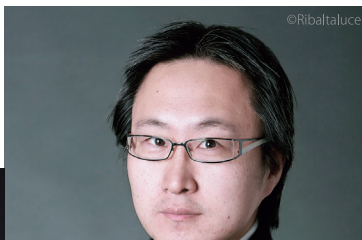
©Ribaltaluce

夢の一夜。 声と管弦楽の極上の芸術。



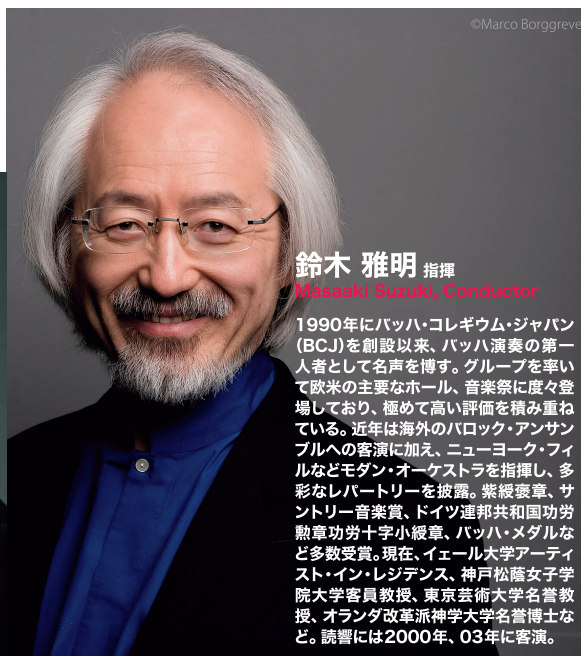
リディア・トイシャー ソプラノ
Lydia Teuscher, Soprano

美声でオペラやコンサートで活躍するドイツの新星。ノリントン、コープマン、ハーディングらの指揮でロイヤル・コンサートヘボウ管、ロンドン響、シカゴ響などと共演。オペラでは、ベルリン国立歌劇場、バイエルン国立歌劇場、ドレスデン国立歌劇場、ザルツブルク・モーツァルト週間、エクサンプロヴァンス音楽祭、モスクワ・ボリショイ劇場、グラインドボーン音楽祭などで活躍している。



櫻田 亮 テノール
Makoto Sakurada, Tenor

伸びやかな歌唱で国際的に活躍する俊英。ブルージュ国際古楽コンクール第2位。鈴木雅明、サヴァリッシュ、ダントーネ、サヴァールらの指揮で、アカデミア・ビザンティーナ、ヴェニス・バロック・オーケストラなど国内外の楽団と多数共演。オペラではクレモナ音楽祭、エジンバラ音楽祭などで活躍。日本イタリア古楽協会運営委員長。二期会会員。東京芸術大学准教授。



鈴木 雅明 指揮
Masaaki Suzuki, Conductor

1990年にバッハ・コレギウム・ジャパン(BCJ)を創設以来、バッハ演奏の第一人者として名声を博す。グループを率いて欧米の主要なホール、音楽祭に度々登場しており、極めて高い評価を積み重ねている。近年は海外のバロック・アンサンブルへの客演に加え、ニューヨーク・フィルなどモダン・オーケストラを指揮し、多彩なレパートリーを披露。紫綬褒章、サントリー音楽賞、ドイツ連邦共和国功勳章功労十字小綬章、バッハ・メダルなど多数受賞。現在、イエール大学アーティスト・イン・レジデンス、神戸松蔭女子学院大学客員教授、東京芸術大学名誉教授、オランダ改革派神学大学名誉博士など。読響には2000年、03年に客演。

鈴木雅明が15年振りに読響の指揮台に上がる。J・S・バッハの世界的權威として広く名声を得ているだけでなく、ニューヨーク・フィルやベルリン・ドイツ響、ボストン響など世界の一流オーケストラを指揮している巨匠だ。鈴木が、J・S・バッハと共に力を注いでいるのがメンデルスゾーンの作品。9月にミュンヘンでバイエルン放送響と「聖パウロ」を指揮するのに続き、10月の読響定期では未完のオラトリオ「キリスト」と詩篇第42番を披露する。この2曲はどちらも演奏される機会は少ないが、管弦楽と歌の特性を知り尽くしたメンデルスゾーンの魅力にあふれた作品だ。前半には、クラウスの小曲に続き、モーツァルトの交響曲第39番も演奏する。近年、読響は常任指揮者カンブルランらと古典派作品も多く演奏しており、深い見識に裏打ちされた鈴木のと高次元の邂逅を果たすだろう。

もう一つの注目は、ベルリンを拠点に活動しているRIAS室内合唱団の共演だ。極めて純度の高い透明なハーモニーで、世界の聴衆を魅了している現代最高峰のアカペラアンサンブル。高度なテクニクだけでなく、人間の声の持つ温もりが彼らのステージには満ちていて、聴き手をおのずと幸せな空気で包み込んでしまう。その歌唱に魅せられたラトル、ノリントン、ヘンゲルブロック、ヤーコプスら名匠たちが共演を重ねており、鈴木も7年前にベルリンでの共演で成功を収めている。二人の声楽ソリスト、ドイツのソプラノの名花トイシャーとバッハ・コレギウム・ジャパンでもお馴染みのテノールの櫻田亮は、豊かな表現力で歌を紡ぐ。

人間が生み出した管弦楽と声による極上の芸術を、心行くまで堪能いただきたい。



RIAS室内合唱団 合唱
RIAS Kammerchor, Chorus

1948年にベルリンの米軍占領地区放送局(RIAS)のために設立。ルネサンスとバロック音楽の歴史的唱法から、様々な特殊な唱法が要求される現代作品まで、幅広いレパートリーを誇る。ドイツ国内では並ぶものない輝かしい名声を誇り、世界最高峰のアカペラアンサンブルとして知られている。2017年からジャスティン・ドイルが芸術監督および首席指揮者を務めている。ヤーコプス、リープライヒ、ベルリン古楽アカデミー、フライング・バロック・オーケストラとは恒常的に共演。ラトル、ネゼ＝セガン、ヘンゲルブロックら著名な指揮者と数多く共演している。録音も数多く、グラモフォン賞、エコー賞など受賞多数。

読売日本交響楽団 第582回 定期演奏会

2018年 **10月26日** (金) 19時開演

サントリーホール

東京都港区赤坂1-13-1 Tel. 03-3505-1001

S ¥9,500 / A ¥7,500 / B ¥6,000 / C ¥4,500

●東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅(3番出口)より徒歩約5分 ●東京メトロ銀座線「溜池山王」駅(13番出口)より徒歩約7分

学生券 学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。

■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。あらかじめご了承ください。■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時～18時・年中無休

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択可/チケット郵送料無料

プレイガイド

チケットぴあ 0570-02-9999

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017